

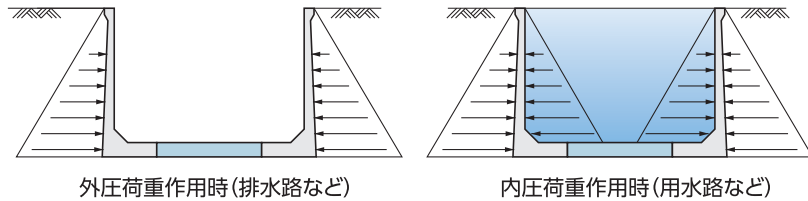
■設計条件

- 1.活荷重:T-25
- 2.土の単位重量: $\gamma=18\text{kN/m}^3$
- 3.内部摩擦角: $\phi=25^\circ$

土地改良事業標準設計図集

「鉄筋コンクリート二次製品」より

“鉄筋コンクリート水路用L形”参照(case-1,3)



外圧荷重作用時(排水路など)

内圧荷重作用時(用水路など)

■KCフルームⅢ型 適用範囲(参考)

呼 称	最大水路幅	盛土高さ(m)
F.LⅢ 600	2.00	0.00~3.00
F.LⅢ 700	2.00	0.00~3.00
F.LⅢ 800	2.00	0.00~3.00
F.LⅢ 900	2.00	0.00~3.00
F.LⅢ1000	2.00	0.00~3.00
F.LⅢ1100	2.50	0.00~3.00
F.LⅢ1200	2.50	0.00~3.00
F.LⅢ1300	3.00	0.00~3.00
F.LⅢ1400	3.00	0.00~3.00
F.LⅢ1500	3.00	0.00~3.00
F.LⅢ1600	3.20	0.00~2.50
F.LⅢ1700	3.40	0.00~2.50
F.LⅢ1800	3.50	0.00~2.00
F.LⅢ1900	3.50	0.00~2.00
F.LⅢ2000	4.00	0.00~2.00
F.LⅢ2100	4.00	0.00~2.00
F.LⅢ2200	4.00	0.00~2.00
F.LⅢ2300	4.00	0.00~1.50
F.LⅢ2400	4.00	0.00~1.00
F.LⅢ2500	3.50	0.00~0.50

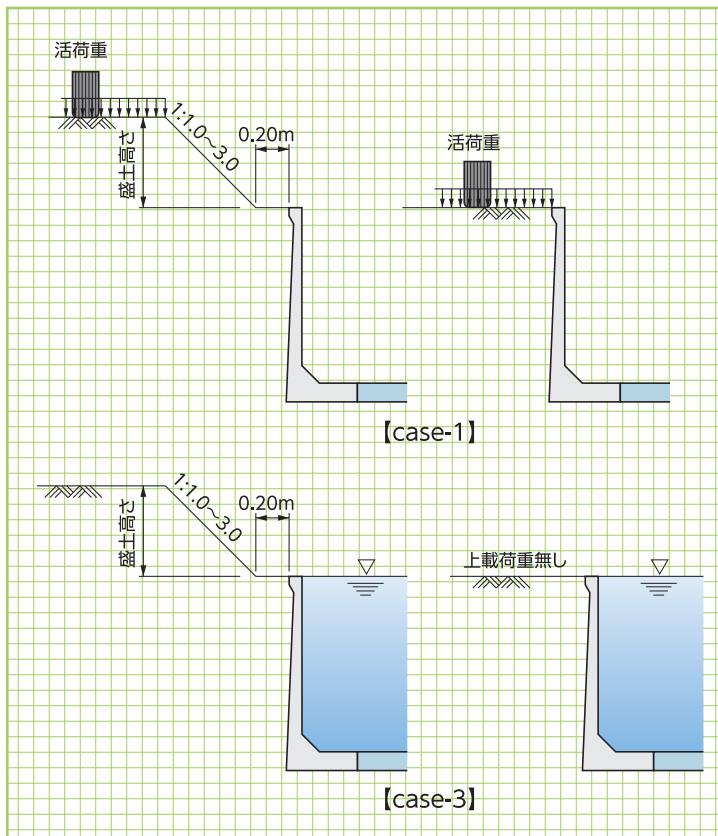
※適用範囲外の検討は最寄りの営業所までお問い合わせください。

・T-0~T-25(case-1の時、case-3は荷重無し)

・ステップ幅0.20m以上

・盛土勾配1:1.0~3.0

・case-1,3対応

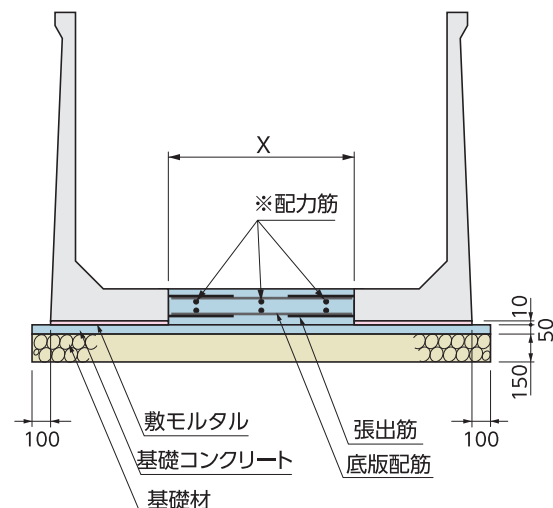


【case-1】

【case-3】

■敷設図及び底板配筋

- 1.底板配筋は、張出筋と同径の鉄筋を結束してください。
- 2.基礎材料は地盤状態により増減してください。
- 3.底板コンクリートは $\alpha_k=21\text{N/mm}^2$ 以上を使用してください。
- 4.底板コンクリート打設直後の、埋戻し及び車両の通行は打設部を傷めるので注意してください。
- 5.埋戻しは、両側均等に行ってください。
- 6.底板は必要に応じて、伸縮目地を設けてください。
- 7.横断箇所は別途考慮してください。
- 8.底板のみ、継手部は接着材を使用することが望ましい。
- 9.現場打部の配筋計画は、「水路工」等の仕様書を参照してください。



※配筋筋にD10を使用している場合は、配筋筋のピッチは125mm
 ※配筋筋にD13を使用している場合は、配筋筋のピッチは250mm